京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可からず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙一枚金二錢　一ヶ月前金三十錢　三ヶ月前金九十錢　六ヶ月前金一圓八十錢　郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（休刊）
廣告料　五號活字十七字詰一行金五十錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久錦一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
仁川支局
東京支局

寄書

●考慮すべし　小松參經

昨今全國の專門校は卒業の期に際して學生は茲に幾年かの辛苦と專意勤勉の結果目出度卒業の榮譽を得て漸く母校を辭して活社會に生存場裏の人となる誠に以て目出度き事にこうるも

◎されど例年の例により同時に起るものは日く就職難日く生活難即此の問題なり殊に近年に至り一層喧しく此の歎聲を耳にす、後輩者をして然かく此の歎聲を痛切ならしむるに至りては社會の爲め茲に考究せずして可ならんや

◎天下學生の過半數は未だ汲々として學業に勵みつゝある學窓に於て已に卒業後の就職問題を縈懷し苦勞して居る徒の如きは將來自己の生活の爲めに甚だ數多縮せる者さへありと聞く事茲に至れりとせば獨り國家社會の爲のみとせず吾人人類の生存條件の爲め確かに看過々觀す可らざる至大なる問題なり

◎現今に於けるや或は此の問題を盡分樂觀視して今日の所謂青年の嘆聲たるや中流以上の生活を爲し能はざるを歎ずるものにして畢竟するに贅澤を守り以て足る事を知覺せば男一匹の生活に何の難き所以やあると

◎然り一面理義ある言なり未だ我國に於ける生活難の叫びには贅澤を求むるの響を加味し就職の嘆聲には比較的高等なる職業を得んとしつゝある願を含む爲めに此の種の叫聲が聊か戯的にして深刻なる然も痛烈なる生存の意義に於け、要求にあらずと世評するものあり

◎然し乍ら此の問題が今日は昨日より刻一刻と切迫しつゝある狀態は確的たる事實なり然りとせば此の嘆聲に[illegible]分希望的要分子を包藏せざる中に於て之が救濟の方法を講究すべく世に術降らざるに早く窓を閉すのがもあり赤辯しく思ひを技に致すべきなり

◎聞くならく外國に於て行はるゝアンエンプロイド（失業者）の集會の如き[illegible]しき光景を我帝國に於ては永久に現出せしめざることを余が敢て望まんとする所なり

◎斯くてかゝる生活難、就職難か未だ多く卒業生の青年に於て叫ばれつゝある間はまだしもの事にて此の救濟方法の研究は正に今日にあらずして將た何れの時にかある

更に聲を高うして速かに此の問題を講究すべきを天下の識者に向つて訴へんとする者矣れ豈我のみならんや

雜報

●鴨緑江の木材

又た鮮口市場には鴨江材年々四萬連内外を出し長春材は昨年中に於て約六七百石北海道材は一萬五六千石内外なりしものが以上の結果北海道材の如きは同地の需要減少して今年に入りて以來未だ一回だも輸入されしことを聞かず要するに營口大連の兩者は從來北海道材の全盛期なりしも今後は鴨江材の販路益々擴張されて將に同材の舞臺に移らんとし又た奉天に於ても漸次兩者を凌ぐの趨勢を示しつゝあり何故に鴨江材が斯く聲價を揚ぐるに至りたるかを尋ぬるに同材は約一年の間水中を運搬せらるゝを以て材中に含有する澱粉質、糖分、樹脂等は自然浸出せられ從つて腐朽に堪ふる力強く龜裂又は歪みを生ずること極めて稀れなるが爲め他の北滿材及北海道材等に比して數等優位を占め居ることが一般に認めらるゝに至りたる結果なりとす而して從來同材の大運輸出は總べて支那人に依つて取扱はれ同地日本人は支那人よりこれを買受くるが例なりしに近來に至り前記の如く需要の著しく增加せる結果邦人の直接輸入を爲すもの あるに至りたりとのことなるが、今後大連營口方面に於ける同材の需要は尚ほ增加すべく又た安奉線の[illegible]は奉天方面にも多額の輸出を見るべき趨勢なれば同材の前途や益有望なりと謂べし（完）

●穀物出廻狀況

本月下旬よりは新小麥出廻期なるも今回の洪水の爲め小量の搬出を見る位にて實に微々たるものなるも來月に入らば[illegible]取引なかるべし目下の相場は上六圓二十錢見當なるが内地相場に比較して三十錢の値開きあるが爲め各貿易商は强て買進まざる狀態なるを以て目下の市場は頗る無聊なり而して來月中旬頃穀物より出廻著るしく增加する共に相場も亦下落し爰に始めて活潑なる商取引行はるべしと云ふも相場の高下は一朝一夕に論ずる性質のものに非らざれば或は今より以上の押を爲すやも難圖と云ふ

●元山方面の水害

咸鏡南道元山に於ては數日來の降雨烈しく本月十二日に至り河川俄かに增水し瀨洗岸を洗ひたるも同日午後八時風雨共に止み著しき被害なし赤田川は約八尺の增水をなしたるも堤防の設備なき低地に浸水したるのみにて農作物を害するに至らず同港内に於て避難作業中の鮮人船夫一名海中に轉落し溺死す德源川は十二日午後六時增水約六尺にて橋梁危險となり一時交通杜絶したるも忽ち減水し著しき被害なし

俳句

◎雜詠十章　多田千楽

時鳥峯の白雲動きけり
夏の野や月を汲み出す釣瓶
年聞けば百になられて竹婦人
角帶は似合しからぬ浴衣かな
麥の粉の中から出たり熨斗
墨なめる蠅のうるさき硯かな
夏柳炙の看板隱れけり
呉服屋ののれん動かず雲の峯
灯取虫廻り行燈に迷ひけり
子を持た猫も夏痩したるなり



召使れ初　第百十六回　黑法師

澤野が政姫を擁して富貴姫に立てんと計るは一朝一夕の事にあらざりき、されど國尾は奥方の後楯あり物とも排斥するは一難事なり、國尾一派の者を邪魔者とする由りて、流石の澤野も奥方を敵にすべき要なければ、什麼とかして國尾一派を奥方の手より放たんと試みたれど甲斐なかりし、國尾[illegible]ある時、國尾勢力の增長する間、富貴姫樣御健固にあらする間、政姫樣前途は暗澹たり、政姫樣れ身の光りは次第に薄らぎ行く樣に職ずるなりき。

これ澤野の堪ね難き處なり、奥方御息の掛らぬ際に、國尾一派を陷れんとは、兼てよりの希望なりき、然も今日のこの出合は、願ふてもなき好き機會なりき、れ峰に謀叛の惡名を付けて、れ園數役人の手に渡さば富貴姫勢力の幾分を殺ぎ去るなり、既にれ察を同罪として追ひ込めば、れ峰の片腕をもぐは或る意味に於て國尾の勢力を奪ひ去るなり、澤野は實に好き機會と歡びき、期せずして此所に敵方の氣勢を挫くは政姫樣御運の開くる瑞相と歡びぬ。されどそは其の樣歡びなりき、れ察の技倆と聽ての計畫希望を碎かれて、れ察



彼等は阿容々々拱歎するの止む得ざるに際したりき。

澤野は幾度もれ察を白き眼に睨み廻して去りぬ、れ察は彼女の白き眼を恐るゝものならざりき、念の上にも念を押して。

「れ約束でござります、あなた方云ひ分はございませぬ晴、此後れ乳母どのに御謀叛など有らぬ名を負はせたまふと察が承知致しませぬ、察が出て埒を付けます、ようた覺ねござりませ、れ宜しうござりまするな」と繰返し〳〵云ふ。

澤野は聞こゑぬ振して去りぬ、四邊に彼等一派の姿は絶えぬ、れ峯は待ち難ねたる樣に驅け寄り。

「れ察樣れ難うござります、あなたお蔭で樣々御難儀御助りあらせられでござります、このれ禮きつと申しまする」と淚を流さぬばかりなりき。

「れ禮には及びませぬ、私ども輕い者少しでもれ役に立てば此上もない本望斯樣な歡ばしいことござりませぬ」

「あなたれ達ぜのれ召使あらせちや晴、今日の事は奥樣へも申し上げ表立ち御褒美の御沙汰のあらする樣に取り斗ふで、れ瑠璃樣へも好いやうに仰せでさりませ」と云ひながら富貴姫の前に身を崩め「樣々た厨下しござりませ、これのれ察どのは、樣々れ氣に入り、れ道ぜのれ召使ひござります」

「察ようしやつた晴、察の忠義、何日までも忘れは無いぞよ」

誰に教へられたるにても無く、富貴姫は生れながらに慈悲深かりき。同の末に情の露は溢れて見へぬ。

「敏ならぬ身に、有難きれ詞、御恩は忘れませぬ、有難うござりまする」

「乳母、何か取らせ、當座の褒美取らせいの」

美はしき御諚は再び下る。

「好い處へれ氣付き、折柄用意ござりませぬが、こゝにれ手づから御摘み取らせの菊の花ござります、この花の匂ふごと、れ察どのの忠義の誉、匂ふやうとこれを遣はされては何ござります」

「好きに爲」

「さらばれ察どの」とれ峰は聲を改めぬ、れ察は面目身に餘るばかりなり

「近う寄らせ、樣々より御物給はらする」

廣告

名譽銀牌受領
キリンビール

◎貸金　旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路　高塚
有給者には極秘密に低利融通可申候

大阪株式取引所仲買人
長き經驗と熟練とを以て常に顧客の御便益を計りつゝある弊店は特に京龍方面に福澤商店を取次とし毎日市場成行前止後止を打電して遺憾なく御報致し居候
相場道の羅針盤北治週報を發行し併せて相場上の意見御下問次第調査回答仕候
弊店は秘密熱誠敏捷の三大素を確守仕候
北治株式店
京城府龍山榮町　福澤商店　現物部
創業明治十四年六月

義齒術全般
京城旭町一丁目　齋藤英壽
電話一四一四番

効能ある温泉
浴用効能　りようまちす、ちうよう、もんけいつう、せんき、かつけ、らいびよう、ばいどくけいできもの、ひんびよう、しようかち、しきゆう、ヒのいたみ、つきやくふちゆん、ひせんがんがさ其他皮膚病一切
外用効能　きりきず、やけど、しもやけ、ただれ、あかまがさちきづ、ゝせん、はのいたみ、ひんてうかたるわせぼ、まんせいできもの、いんきん、たむし、う
内用効能　いつう、りようきらすせきすい、じんぞう、あびーう、ちようかたる、らいたみ、病後衰弱、りんびよう、しようかち、しきゆう、酒のよい、ひんけつ、しんぞう、あびーう、たうだん、かつけ、しんけ、げり、はら
旅館　浴客　貸席　鐵冷温泉
京城長谷川町一丁目鐵道建設所北横手（電話一四一一番）

夏季清涼飲料は胃腸諸病に特効ある天然冷鑛泉と天然炭酸瓦斯を以て山緑に氣清き幽谷にて製造したる
官内省御用達
陸海軍御用品
東京醫科大學病院御用品
京都
東京胃腸病院藥局御用品
日英博覽會金牌賞受領
三ツ矢平野水
三ツ矢サイダー
三ツ矢ヲレンジ
シナルコ
を召あがれば最も衛生に適し且つ夏季極めて恐る可き下痢などを起す恐れは決してありません
◎近時當社製品の信用あるを奇貨とし商標を模造して粗悪なる不良品を發賣する奸商あり三ツ矢印に御注意願上候
製造元　帝國鑛泉株式會社

京城新報

鮮人と高等教育

拓殖局の意見を駁す

過日の本紙に報道せし如く、拓殖局にては朝鮮の教育制度に關し、江木部長指揮の下に目下調査なしつゝあるが其大体の方針は殖民地の統治上常に政治的弊害を醸すは高等教育を受けたる人士に多き事實は彼の英國が印度に施せる教育制度に依りて明白なれば之等の點を參酌し鮮人の教育は中等程度に止むべしと、縱令拓殖局の意見が如此くするも、統治當局者にして同意せざる限りは之が實現を見ることなからむ、否鳳個の土着民文化の根源たる教育制度に就ては最も愼重の研究を要すべきものなるは當局の夙に心得居る筈なり。然れども拓殖局が殖民地統治の策源府として且又柴田拓殖局總裁が現內閣より多大の信任を受けつゝある關係上より推測して、或は拓殖局の意見政府を動かさゞるとも限られず、故を以て吾人は異先きに拓殖局の鮮人教育意見に對して反對を表白し置かざる可からず。

拓殖局が鮮人に高等教育を施せば政治的弊害を醸すとなし、例を印度に採れるは、抑々根本より謬れり道は英國と印度の關係が、我國と朝鮮との關係と同一なりとせる淺薄なる見解に因つて來りしものと斷じて可なり、英人政治家中に印度人の高等教育を受けたるものが英國の統治を非難し獨立を希圖し又は反抗心を鼓吹せむとするの傾向あるを慨きて、黑秀才を造るの危險なるを說く者あるは吾人の能く知る所なるも、之れ蓋し印度にありては免るべからざる所なりとす。印度の歴史に溯りて見よ、同國は最古の時代既に文明の潮流として範を四方に垂れ、哲學宗教數學文學論理學美術等に至る迄、歐州の古代に於て見る可からざるの發達を遂げ、人物の傑出せるもの亦少なからずしは釋迦の如き大宗教家ありしに見て之をトするに足る、然るに斯の歴史を有せる印度民族が其國を失ひ他國の統治の下に屈服するに至りしものは要するに彼民族の住域廣大にして從つて種族衆多に岐れ、互ひに勝者の地位を得むとして爭鬪を事とせし結果は終に第三者に統一せられたるに外ならざるなり。而かも彼等民族の思想は夙に開發し哲學宗教によつて陶冶せられし思想をは衷相容れざるを以て、彼民族中高等教育を受けたる者が獨立成功の期し難きにも關はらず今の境遇より脫せむとするは自然の數にして敢て異とするに足らず、之を挑撥せしむるは英帝國の所心胸に察すべきものあるも、直ちに印度に於ける英國の苦心をば我半島統治の鑑戒となさむとするは神經過敏も亦甚だしい哉と言はざる可からず。特に近來埃及國民が英國に心服せざるものあるを云爲し、朝鮮民族に充分なる教育を施すの不可を唱ふる者あるに至つては一層其淺見に驚かざるを得ず、世人常に云ふ埃及は英國の保護國なりと、しど其性質を究尋すれば他の保護國の關係とは頗る趣を異にし、……あらず。元來埃及は土耳古……して英國が其內政に干與するものは、紊亂せる埃及の財政を整理せむとするが目的にして、英國の埃及に於ける施設は皆此目的より胚胎せしものなるを知らずして我國の朝鮮に於ける爲政の範を彼に執らむとするが如きは本末輕重を慮らざるものとして吾人之を排擊するを憚らず。況んや埃及國民の如き基督教と絶對に相容れざる馬哈默教を信ずるものが自己の力を測らずして反抗の萌を現はせるは思想の相違より來れる必然の結果なるに於てをや。

我の半島に於ける關係は如何、一として英國の印度埃及に於けるそれと異ならざるはなし、地勢上より見るも亞細亞の一角に位し距離僅かに八時間の航程に過ぎず、人種と云ひ文字と云ひ共に同種同文、加ふるに儒佛の信仰を同ふし、特に併合の事たるや二千年來の懸案の解決せられしものにして、古昔より當然一國として存在すべかりし關係を有せしとは今更吾人の喋々を要せざるなり、然るに如此根本より不離の關係ある半島民族に對して高等教育を施す勿れと云ふは、半島民をして却つて危惧の念を懷かしめ、統治上不測の患害を醸すものなるを想はざる可からず、若し夫れ此に考及せざらむか高等教育の事總に他の乘する所となるを保せず、噫思想を制するは思想に若かざるなり、此理を覺らずして初めより思想界に堰堤の高堀を設けむとするは恰かも一枚の板を持て流水を止めむとするに同じく反つて其勢を激せしむ、恐るべき哉。

東京電報

▲**露國大使交迭説** 駐日露國大使マレウイッチ氏は駐清公使に轉じ駐清公使コロストウエッツ氏は駐日大使たるべしと傳ふ

▲**米汽船遭難** 二十七日館島沖合にて米國汽船エンプレスオブチャイナ號淺瀬に座礁し軍艦宗谷外一隻は救助に向ひ船客及荷物は同艦に移乘せり、船体は到底救助の見込なし

▲**滿洲懸案解決** 滿洲に於ける諸懸案は大部分落着したるが末了の案件は奉天線引込問題のみなるが彼我の間に交渉進行しつゝあれば近日落着を見るべし

▲**北海道海嘯** 北海道にては二十八日海嘯起り釧路町被害最も甚だしく家屋浸水の爲め多數の負傷者を出せり

▲**祭粢料下賜** 東宮同妃兩殿下には二十八日嚴妃の祭粢料として金一千圓御下賜に御沙汰あり波多野大夫より寺內總督を經て傳達の手續を經たり

▲**暴風雨と遭船** 暴風雨のため損害を被りし汽船は別項チャイナ號の外非常に多き模樣にて目下取調中

▲**米價暴騰** 米價暴騰し二十圓臺を破れり

▲小野田元熙、折田彥市の兩氏は錦鷄間祗候を仰付らる

▲**東宮御行啓期** 東宮殿下は八月七日頃北海道行啓の途に就せらるべし

▲**電信電話の復舊** 暴風雨のため破損したる電信電話何れも復舊したり

▲**チャイナ號の坐礁別報** エムプレス・オブ・チャイナ號昨廿七日午前六時東京灣コーメラ沖に於て坐礁したるが折柄館山灣碇泊中の練習艦隊急航救助に盡力せしも引卸ろし困難なるより百七十八名の乘客と郵便物を積み取りて廿八日午前一時三十分橫濱に入港せり チャイナ號は目下引卸作業中なり

▲**津輕の死傷數** 軍艦津輕の死傷は卒二名重傷下士二名卒二名輕傷二十餘名同艦は直に橫須賀に歸航の途に就り

雜報

內地人の自治破壞問題

大石正巳氏談

▲**朝鮮居留民團の撤廢** につきては未だ何等の報道に接せず、然れば今にして之を論ずる事較早計に失すと雖もこれを事實とせば當さに歴史ある居留民の權利を蹂躪するもの國民の發展上蓋し

▲**由々敷一大事** なりと言はざるを得ず、抑も現政府は移民の獎勵策を唱へ移民の保護を熱心ながら一面に於ては常に我移民の便宜を殺減し其發展を沮害せむとす、吾人は其の何の意たるを解するに苦む、勿論併合後の今日居留民なる以前の名稱を廢するは當を得たりと雖も其の名稱を殺するが爲めに既に歴史を有し根抵を有して三十年來漸く發達し來れる我が邦人の權利を奪はむとするは何事ぞ、未だ與へざる以前ならば兎に角既に與へたる今日俄かに

▲**其自治權を奪ふは** 我邦人をして教育文化共に低度なる者と同一視せむとするか、將た鮮人を以て我邦人と同視し共に自治權を奪はむとするか何れにしても暴橫無法の極端なる施政なりと言はざるを得ず

▲**英國の如きは** 東西到る處其殖民地を有し中に幾多の蕃民を包容するに拘はらず移住民の數漸く增加し市街亦た漸く趣きを成すに至るや劈頭まづ其自治制を許し其利益を保護し其權利を尊重し移住民をして其欲する所に從つて其財政教化衞生其他萬般の政務を處斷せしむ。於茲か殖民地到る處自治制あり自治制の存する所市民の活氣自ら橫溢するを見る。是れ英國の殖民地が常に成功し佛西其他の殖民地が常に失敗に了れる所以にあらざるか吾人は嘗つて議會に於て其失政を責め其橫暴を詰りたるが今猶ほ

▲**其の非を悛めず** 濫りに其武斷主義を振廻して居留民の權利を蹂躪し其利益を掠奪し內地人をして住いて朝鮮に事業を起すを危ぶむに至らしむ斯くて朝鮮の發達居留民の發展を望むは猶ほ木に緣りて魚を求むるの類、吾人は朝鮮の前途の爲に深く之れを憂へざるを得ざる也。

●未墾地貸付處分

去る四十年九月十五日國有未墾地利用法施行後本年六月末日に至る未墾地貸付出願處分に係るものと聞くに貸付出願件數二千百五十七件にして同反別十六万〇三百十町步なるが內內地人より九百六十二件の出願にして同反別八萬六千四百九十五町步なり他は朝鮮人なるが之れに對する貸付を許可したるものは內地人の分百六件にして同反別五千四百六十一町步朝鮮人八百三十二件同反別六千二百七町步なるが同種類別に記せば左の如し

原野	十五件	三百四十一町步
荒蕪地	三十三件	八百〇四町步
草生地	百〇九件	三千六百四十六町步
沼澤地	五件	五十九町步
干潟	八十六件	六千八百十八町步

●大屋長官の辭職説

朝鮮鐵道局長官大屋權平氏は家事上の都合により近く現職を辭すべく其の後任は小城勅任技師なるべしと官吏間に噂さ高し

●大隈伯渡滿勸誘

滿洲早稻田大學校友會は時局に對し大隈伯の渡滿を待望し同地の勢望家にして校友たる馬越恭平氏を交渉員として東上せしむる事として同氏は近次朝鮮校友會と打合せの爲め來京し三十日出發關門より九州各地の校友會を訪ふて東上の途に就く由

●寺內總督巡視

寺內總督は二十九日午前八時より藤田副官を隨へ工業傳習所を視察し同九時歸邸したり

●第一銀行總會

第一銀行にては二十五日東京銀行集會所に於て第三十期定時總會を開き頭取澁澤男より營業の概況を述べ年一割の利益分配案を附議して原案通り可決續いて臨時總會に移り取締役澁澤榮一、三井八郎次郎、佐々木勇之助、熊谷辰太郎、日下義雄の五氏及び監查役土岐儀、尾高次郎の二氏任期滿了に付き改選せしに何れも重選に決し散會せり利益分配案は過日の本紙に記載せしも茲に重複を厭はず左に掲載す

一金七十萬六千百四十七圓二十五錢 當半期純益金
一金九十九萬七千九百九十四圓九十七錢 前半期繰越金
合計
金百三十萬四千百四十二圓二十二錢
內
一金三萬五千三百圓 役員賞與金及銀行員恩給基金
一金五十萬圓 配當金（一株に付金二圓五十錢即一割）
金六十一萬八千八百四十二圓廿二錢 後期繰越金

即決例と民訟調停

……國分高等法院檢事長談……

犯罪即決例及び民事爭訟調停は實施後既に半歲を經過したるが實施後の成績に就きては過般來各地方裁判所檢事局に於て詳密調查中なりとの事なるが今國分法院檢事長が往訪の記者に談る處によれば左の如し

▲**民事爭訟調停** 民事爭訟調停及即決例に關する制令公布さるゝや一部の人士は此が實施に就き種々の杞憂を抱き彼是議論を上下したる人もありしが過去半ケ年間に於ける成績に就き予の見る處は頗る良好なり本例は裁判所々在地外の警察署及び憲兵分隊に限り處理する事となり居れるが朝鮮に於ける裁判事件數に就きて見るに民刑事を通じて裁判所に接近せる地方最も多く裁判所を遠ざかるに從つて事件は漸次減少する傾きあり此は地域により事件の多寡あるに非ず全く遠隔の地に在るものは種々不便なる結果主張すべき權利も主張せず隱忍し居たるもの多かりしに由る民事爭訟調停は此等の不便缺陷を補ふに最も有益なるものにして實施後日尚淺きに拘らず相當の成績を收めつゝあるは喜ぶべし實施後各道の取扱事件數は目下調查中に屬するを以て其の正數を語る能はざるも或る警察署の如きは毎月約十件位宛取扱へるもあり又一件も受理せざる警察署もあり元來民事爭訟の調停は強制的のものに非ず全く任意的のものなれば警察署長若くは分隊長が一度不公平なる處理を爲せば何人も依頼するものなかるべきを以て其の任に當るものは愼重に處理すべきは言を待たず

▲**犯罪即決例** 本年一月一日より實施され既に半年餘を經過せるが其の取扱件數は目下調查中にして其正數を語る能はざるも成績極めて良好にして即決に不服を稱へ正式裁判を仰ぐものは殆んど稀なり因に本例實施後裁判事件數には未だ何等の影響を認めずと云ふ

●東拓拂込成績

五月三十日拂込通知の東洋拓殖株式會社第二回株金は本月五日を以て期限經過せるが當日迄には十九萬圓の未拂ありしも其後漸次拂込ありて七月二十九日には二万五千八百六十二圓の未拂と減じたるが之は皆小株主のみにて其內郵便配達不能の者も四五人はあるとの事也

●春蠶收繭高

本年度春蠶收繭高に就ては目下各道に於て實查中なるが各道廳及勸業模範場、蠶業傳習所、會社又は個人より今春配付又は販賣したる桿製蠶種其の他に付農商工部に於て豫想したる收繭高を聞くに一萬六千三百七十三石にして之れを前年に比すれば二千九百二十六石の增加即ち二割二步增に當る今假に一石三十五圓とすれば十萬二千四百十圓の收獲を得る次第なりと

●露國領事館設置

本年四月露國人官吏六名は牛買に扮し間島に入り込み暫く同地に滯在し諸般の事情を精查し浦港に引上げたる由なるが愈々露國政府に於ては間島龍井村に領事館を新設する事に決定したり目下一人の露人すら在留せざる同地に領事館を新設するは何等か重大なる意味あるものと察せらる

●木內氏送別會

既報の如く前木內長官の官民に於ける送別會は倉富、石塚、小宮、市原、池田、宇佐美、宇佐川、明石、小松、俵、小城、菊池、古城、海津の各氏の發起にて愈々來る三十一日午後六時より京城ホテルに於て盛んなる宴會を開かるべしと

●李王[illegible]

李王同妃殿下には二十九日午後二時三十分昌德宮御出門德壽宮に赴かれ同午后四時三十分御還宮あらせられたり

●嚴妃十日祭

二十九日は嚴妃逝去後十日に相當するを以て德壽宮興福殿に於て李太王奠酌禮、李王進香禮、王世子進酌禮を行はるゝ由

●商船特別三等室設置

大阪商船株式會社釜山支店にては大阪仁川間航海各船の二等室常に滿員にて乘客の意に投せざる向妙からず大に遺憾とし居たるが今回各船共普通二等室に設備を加へ食事等も非常に改良を施し運賃は三等運賃に小額の割增をなし八月一日より特別三等室を設置する由なるが其運賃は大阪及神戶迄七圓五十錢門司下關迄三圓五十錢馬山一圓四十錢木浦四圓群山五圓五十錢仁川五圓五十錢なりと云ふ

●教育會臨時總會

京城教育會は來る一日午後一時より商業會議所樓上に臨時總會開會目下滯京中の各道小學校教員も臨席すべしと

●講習會の科外講習

去る廿四日より漢城師範學校內に於て連日開催中なる京畿道管內教員夏期講習會は廿八日近野道技師林業上の科外講演ありたるが同技師は苗木の枯落せざる方法及び害虫の豫防驅除方等詳細二時間に亘りて講演したりと云ふ尙來る卅一日の月曜日には田中道技手の養蠶に關する講話あるべしとの事なり

●京城夜學夏期講習會

旭町一丁目京城夜學校にては來る八月一日より同二十一日に至る三週間を以て毎日午後七時半より二時間宛漢文、數學、英語の三科目に就き講習會を開設する筈なるが講習希望者の便宜を圖りて各科共甲、乙、丙の三組を設け既に中學程度の學力を有する者は勿論、初等者と雖短時日の間に修了せしむるものなれば各階級を通じて入會者に好都合多かるべく且つ時々諸名家の科外講演もありと云ふ委細は同校に就き承合すべしとなり

●東拓本社上棟式

東洋拓殖會社の本社建築は本春來工事に着手し爾來着々進行中なるが愈々來る八月十日を以て盛んなる上棟式を擧行の筈にて本年の天長節までに移轉の豫定なりと

●秋柞蠶の飼育

京畿道授產場に於ては秋柞蠶飼育の爲め目下其授產者を收容しつゝあるが一方之れが蠶種の製造中にして其飼養林面積は各授產場を通じて約廿四町步なりと云ふ尤も製造中の蠶兒は今後十日內には全部發生すべしとの事なり

●岡崎專務の東上

日韓瓦斯電氣會社の總會は八月廿九日頃東京に於て開かるゝため岡崎同社專務は來る八月廿三四日頃出發東上すべしと

●農商工部紀念撮影

農商工部吏員一同は廿九日午前十一時同部構內に於て前木內長官と記念のため撮影を爲す

●驪州郡の雀害驅除

京畿道驪州郡に於ては農作物に對し雀の被害少なからざるを以て警務部長の認可を受け郡內一般に雀の卵雛捕獲を實行したるに六月中に於て郡內各面にて捕獲したるもの卵四萬六千八百七個雛五萬千八百二十五羽、公立普通學校生徒の捕獲したるもの卵六百六十四個、雛五百七十一羽計卵四万六千七百五十一個雛五萬二千三百九十六羽なりしと云ふ

公人私人

▲大池忠助（釜山實業家）廿八日入京山本旅館へ
▲神谷卓雄（平北內務部長）同巴城館へ
▲宮原忠正（農林學校教授）同
▲八田吉平（同）同上
▲向阪義三郎（同）同滿尾旅館へ
▲本田幸助（水原模範場長）同巴城館へ
▲大庭寬一（元平壤民長）廿八日出發
▲米山久彌（東拓江景出張所長）同
▲萩谷籌夫（朝鮮新聞社長）同
▲金澤庄三郎 文學博士 同
▲中村光吉（韓銀平壤支店長）同
▲松本重敏（東拓砂利院出張所長）二三日前赴任

▲京城手形交換高▼

月日	金高	枚數
七月二十九日	一四六、三九二、九三〇	四二三

▲治外法權▼

東電に曰く、桂首相八月下旬を以て骸骨を乞ひ、西園寺侯代つて新內閣を組織すべしと、ア—內閣更迭の報の傳はるや久し、併し今度と云ふ今度はナンダカ本物の樣だ▲桂が去つて西園寺が入る、膜臟が變つて新內閣が出來る、併し國力が依然たる以上對外政策は變らぬ▲兒玉へ過日も書いた如く、今や歐米列國間に仲裁條約が出來なんとして居る、而してソレ等がミンナ出來れば、我日本は列國からアイソレートされて孤立となる▲古人曰く、一身の外に味方なしと之れあるかな之れあるかな、孤立何ぞ憂ふるに足らん、只だ顧ひべきは我自身だ▲過る二十一日乃ち沈沒鐵嶺丸の一週忌の當日、鐵嶺の姉妹船開城丸が鐵嶺沈沒の同一場所を通過すると、折柄突然として濃霧起り、危險開城丸に迫りしを以て無餘儀入時間を停船した▲而るに茲に怪しむべきは航路標識所管の竹島燈臺で其日濃霧の起つたのを知らないのか、矢張り昨年鐵嶺沈沒の時の如く、遂に霧笛を鳴らさなかつたソウだ▲開城丸は停船を以て幸に危難を免がれ得た、併し竹島燈臺の無責任は言語同斷の沙汰だ▲大屋權平が鐵道長官をヤメルとの噂がある、而して後任の後任者は某軍人なるべしの噂がある、而しドッチも噂でマダ確ではない▲野田平の子分で金時錢と云ふ出來ボシ紳商が漢江へ飛込んで、自身を水葬した、聞く金、平公の財產を橫領して全部蕩盡すと、惡錢遂に此悲劇を生だ。

●金時鉉氏の自殺原因

▽京城實業界の大恐慌
▽宋秉畯子ロアングリ

京城鮮人實業界の花形役者として併合以來メキメキ賣り出したる日韓瓦斯電氣會社其他三四銀行會社の重役として名聲隆々真に飛ぶ鳥も落さん程の勢ありし少壯實業家金時鉉氏は三日前突如として其の姿を隱したり上述の如く何分其の關係する處廣き同氏の事とて鮮人實業界の恐慌は往年横濱に於ける平沼專藏氏の養子延次郎君が其の姿を隱したるにも増して喧しと聞くと此の噂にて持ち切り居れるが然るにても同氏は何故ありて斯く突然其の姿を晦ましたるか我社が探知したる所に依れば同氏は明治四十年第二韓協約成立以前は南大門外の小やかなる一布木廛主たるに過ぎざりしが該協約成立と共に、一進會の首領たりし宋秉畯子は殆んど乞食の如き境遇を脱して臺閣に列することゝなると同時に如何にしけん俄然資産家としても又堂々たるものとなるに至りたり政權と暴富此所に如何なる關係の存在せるやは門外漢の窺ひ知る所に非ざるも兎に角宋子が暴に巨財を積みたるを事實として記臆せよ、扨暴に持ち付けざる金を持ちたる宋子は古來朝鮮の習俗上之れを自分の名義となし置く事に不安を感ずるのみならず更らに暴富限の悲しさには借金の遣繰には經驗あれど金儲の運用其の利殖などには全く無經驗の貧乏育ちなるより思案の結果如才なき番頭の必要を感じ之れを友人なる開城の李健爀に相談したるに李は言下に彼の金時鉉氏の適材なることを[illegible]宋子に紹介し茲に金氏は宋子が政治家として有する暗黒面の事業を分擔し爾來技腕を揮ひしにぞ宋子は全幅の信用を金氏に傾注して自家の全財産を擧げて株券も銀行の預金も會社[illegible]行の總數も總てを金氏の名儀に書き換へ保管運用の全權を託したるのみならず併合と同時に解散せられたる一進會の財産も宋子の手より金氏の名儀に改められたる結果は即ち關係各會社の大株主として重役に推薦せられ漢京一流の實業家とは成りたるものにて猶は宋子の主唱及び大部分の出資に依りて創設されたる漢城美術品製作所の理事を兼ね居るなり然るに一方宋秉畯子は併合以來身邊に危險の虞れあるを以て常に東京に住する程にて歸鮮する事も容易ならざる身の上なれば金時鉉氏は頭の押へ人なきを奇貨とし私腹を肥しつゝも帳尻を合はさんことに腐心したる結果は關係會社の株買占なんどの投機事業に手を出したるが曾て事と何どやら美事外れて却つて大穴を穿けたるに然ち流行の土地熱に浮かされ相當地位ある日本人某と共同して土地買占に依りて此れを埋合はさんと試みて又候失敗したり此れより先き金氏は京元線敷設後の鐵原附近の有望なるべきを以て宋子に説き多大の地面を買占め更らに一萬圓の工費豫算にて灌漑工事に着手したるに一萬圓は愚か十萬圓にても成功覺束なく更らに南山町の某大料理店に三萬圓を借付けて回收思はしからざる等失敗ある都度宋子に通知するものありしも正可と高を括りて生命に係る危險を冒して迄で歸鮮するの必要を認めず僅かに美術品製作所に小川鶴治氏を入れて其の整理を圖らしめたるが小川氏調査の結果は話し以上の紊亂にて各方面に亘りて或は宋子より委託されたる全財産は殆んど消え失せ居るやも計られずと氣味惡き事を宋子に通知せし者あるにぞ宋子今は些々生命の危險など問ふ所に非ずとし歸鮮し金氏に[illegible]しにぞ取[illegible]の[illegible]を[illegible]めて其不都合を[illegible]める宋子は李健爀を呼び寄せ保證人としての善後の處置に就き嚴談したるに李は決して自分は彼の保證人に非ず只番頭として世話したるのみなり況んや彼れに其の全財産の管理を托せよと云ひしことすらなし更らに況んや彼れの名儀に其の全財産を書き換へ」と云ひたることなきのみか其の事實を明瞭に知り得たるは只今なり保證人なぞとは思ひも寄らずと刎ね附けたり斯くと聞きては流石の宋秉畯子も今更の如くに狼狽し辯護士に托して訴訟を起さんと[illegible]研究の結果は罪とならずとあるに茫然自失し居る處へ金氏の失踪となりしより火の手は八方に延び各關係銀行家は重役の失踪とあつては由々敷大事なりとし八方捜索中なりしが遂に別項記載の如く自殺と判明したるものなるが然りとは宋子のロアングリ寢覺の惡しきことなるべし

●金時鉉氏の自殺

▽漢江に投身して

日韓瓦斯電氣株式會社漢湖農工銀行朝鮮商業銀行韓一銀行重役漢城美術製作所理事金時鉉氏（三八）は別項記載の如く三日前より家出行衛不明中の處二十九日午前七時龍山漢江項契にて死体となりて浮き上り發見せられたり龍山警察署よりは署員直ちに現場へ出張死体は檢視の上實弟某に引渡されたり

●李太王と金時鉉

別項所載の如く金時鉉氏の自殺は延ひてコールブラン氏對李太王殿下の訴訟にも重大なる影響を及ぼすべしと

京城藝妓の半生 清華亭 政菊（二）

果は實れり、實れる果は熟せり、將に落ちざる可らず、藝者は役者に惚れたり、惚れたる以上は逢はざる可らず、人の一念は幽冥境を異にして尚且つ感合すると云ふ、況んや大坂と神戸、一彈指の間にありて念ひ詰むる白痴の一心豈に通はざらんやだ、天の川崎君は突然、でもあるまいが彼れの身にして突然其の十二月の上旬約三ヶ月程の豫定を以て清國に立寄り英國へ視察として出立した、勿論決して浮氣をするな風を引くなと優しい説論をなさつた上充分に手當を下し置かれてゐあつた、旦那が旅に出ると云ふことは既に逃す可らざるの好機である況んや手當が澤山ある、此れで浮氣を爲ない程に野暮な圖者があると思ふのが心得違ひだ、況んや彼れには旦那が居てさへ何とかして居ると思つて居た男があるに於てをや、斯くと聞いて彼れは咽喉を鳴らして喜んだ、旦那の船が淡路島を右舷七十度に見る頃を見斗らつて大阪へ乘込んで志望の萬分の一を達した此萬分の一は或る意味に於ける全部である、より以來夢中になつて少なからぬ手當分を多分に割愛した、翌年正月には公然男の方から自分の宅を訪ねる如にした、狹い神戸の出來事で直に世上に知れ渡つた新聞の三面に厄介になつて本邸の方でも棄て置かれずとあつて英國滯在中の主人に打電する騷ぎ一方我當にしても然うなると信用にも關すると云ふので左樣ならを極めた、獨り馬鹿を見たのは玉菊であつた、併し他の圖者とし役者狂をする以上此の位の事は覺悟でなければならぬ、然るに玉菊はモ少し虫の好い考へ方をして居たのだ「知れるものか」と年の若かつた所だ今なら力士を買つても他人に[illegible]樣な事はせぬ何分年が若かつたので餘りに浮世を三分五厘に見て居た「知れたつて謝罪りや宜いワ」と、だから川崎君が三月の下旬に歸るとなつても敢て驚かず泰然自若として居た、玉菊が泰然自若として居る丈け輪をかけて驚いたのは川崎君、ツクヅク女子の養い難いを嘆息して幾何かの手切金を抛り出して「モウ此れまでの關係だ」とスッパリ手を斷つたので玉菊此時初めて驚いて謝罪つたが聽かれない、泣いても駄目、笑つても試たが猶駄目、死んで試たら何うなつたか判らないがソーツ迄試るのが恐いから止めにして手數と資本の不用ない範圍に於て手を盡したが一切利き目がない「圖者が役者を買うのは其樣に惡い事かしら」と夫れ以來一心になつて考へてるが未だに何うも不得ねと云つて居る。

●築港工事と金筋

△[illegible]行の氣勢を示す

仁川の築港は仁川の生命なり多年の[illegible]望遂に遂げられ去二十日を以て潮止築堤の大工事は京仁間の請負業者數氏に對し其筋の指名入札を以て仁川在住の稻田組の手に落ちたるこそ[illegible]岡組のみならず仁川港民の共に喜ばざるを得ず然るに總督政治の下に警務機關の偏れる今日に於て土木業者間に於ける所謂金錢の跋扈し落札者を脅迫し金錢を常業となし不正を強請し無智徒食を敢てする不都合漢こそ十二分なる其筋の注意を求むるや切なり嚮記仁川築港潮止工事の請負入札舉行せらるに先ち京龍間の金筋は多數仁川に入込み來り其親分と稱せらるゝ某々氏等三名の如きは某旅館に偽名をなし宿泊し居りて屢々使者を落札者の許に派し強請し暴行の氣勢を示しつゝありと仁川の築港工事や今後六ヶ年の繼續事業に非ずや然るに第一着手の入札に於てすら恐るべき暴威を逞するに於ては今後如何なる方面にか苦々しき醜聞の無きにしも非ざれば今にして彼等金筋の退治をなさざる可らずと投書のまゝを

●店員難

本町四丁目二十五番戸藤田雜貨店々員兵庫縣人廣田平次（二三）同愛媛縣人渡邊利平（二三）同山口縣人古道兵作（三一）の三名は共謀して本年一月六日以降本月二十五日迄の間に於て店の商品ビール外數十點（代三百五十餘圓）を盗み出し之を賣却し各平等分配の上新町遊廓、曙春、櫻浦月樓中の新地樓の家等にて浪費したる事南部署佐藤長野川副岸の刑事に探知され目下取調中

●佐久良座で亂暴

原籍滋賀縣大津市金塚町十一番地生れ當時龍山漢江通り四丁目四十番戸竹島末吉（二八）は二十七日夜目下開催中なる山下町劇場櫻坐へ一杯機嫌の上新劇見物に出掛けたまではよかりしが非常に酩酊し居りし折からとて見物の多衆に向つて暴言を吐き果ては眞の裸体となりて亂暴をなせしを憲兵隊に認められ引致せられしが如何に酒の上とは云へ末公よ以後大に注意し給ねだ

●大相撲七日目取組

加勝山 太刀音 入ッ岩 苅藻川
敷島 金の花 玉の川 大崎
平の石 小の崎 陣立 鏡川
勝田嶽 緑甲 上ヶ汐 五十嵐
有明 土州山 鳳 國見山
伊勢濱 黒瀬川
番外 寒玉子 敷島
五人掛 太刀山（勝田嶽 金の花 寒玉子 大[illegible]）

日曜集會

●京城基督教會 相生町同教會二十日曜集會午前十時禮拜說教午後八時傳道說教
●日本メソヂスト教會 旭町二丁目午前十時禮拜說教午後八時傳道說教
●日本基督教會 旭町四丁目午前九時より日曜學校、午前十時より禮拜說教午後八時より傳道說教

●演藝だより

●壽座 木村猛夫一行の三十日の替り狂言は孤島の美人三十一日の替り狂言は寡婦モノ哀れ傳にして衣裳は三越呉服店の特製にかゝる同店飾り品を着用すと
●歌舞伎座 大坂二〇加曾我廼家合同劇にて毎夜大入なり
●浪花館 浪花光[illegible]一行の浪花ぶし

廣告

第三〇號公告
工事請負入札
一 龍山小學校舍修繕其他修繕工事
此入札保證金ハ見積價格ノ百分ノ五以上
入札者ハ二ケ年以上斯業ニ從事シ現ニ居留民團税モシクハ直接國税三十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
右工事請負入札ニ付スベキ者ハ仕樣書圖面契約書案實地等熟覽ノ上來ル八月三日午前十一時限入札書ヲ當民團役所ニ差出ベシ即時開札ス
落札者ト此契約ハ本民團民長古城菅堂之ヲ擔當ス
明治四十四年七月三十日
京城居留民團役所

子供雇入たし
齡十三歳より十六歳迄のもの二名雇入たし手當面談
京城明治町一丁目（電話四〇一番）
大塚京城支店

神易人事一般
必勝活斷
仁川期米
京城旭町一 高千圓の下
山の内

內外科 小兒科 入院隨意
梅毒淋病
京城壽町三丁目
高井醫院
電話（二一六）
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

産婦人科專門
醫學士 二宮亮吉
耳鼻咽喉眼科
得業士 岩橋嘉太郎
今般當院招聘去廿四日着院本日より一般診療に從事す
追て內外科は從前之通り同內科專門醫學士不日着院
月 日
漢城病院

●貸家
黄金町の最も便利よき所
右御入用の御方は大和町一元軍司令部通大和倶樂部內辻伊重迄

▲病室落成▼
▲入院隨時▼
時間 毎日午前八時より正午迄（毎日曜及大祭日休）
月水金午後四時より六時迄
京城 旭町壹丁目六十七番戸（電話六九二番）
一般外科診療
鈴木外科醫院
前大韓醫院外科主任 鈴木謙之助
●六百六號注射の需に應ず
ワッセルマン氏梅毒有無の診斷法を始む

牛乳
●弊場にては特に優良なる牛乳を搾取販賣仕候
仁川京町四丁目
深堀牧場
電話五四五番

土用丑ノ日（七月三十日）
蒲燒 鰻丼
例年之通大勉強仕候當日は多數の御注文有之混雜に付可成前以て御注文多少に係らず御用命の程願上候
本町一丁目
電話五九八番
天金

攝陽灘石崎合資會社釀造


特約店
京城本町二丁目
佐藤牧太郎
電話二一九番

俳優の化粧は貴女に適せず

懸賞三行當選文發表

クラブ化粧品本店

クラブアライコ

クラブオシロイ

クラブミハガキ

俳優の化粧と素人の化粧に就て、曩にクラブ本店の募集に係る懸賞當選文發表に際し、更に賞を懸けて之か短評三行文を募集せし處、應募者意外の大多數にて、締切期日五月十日迄に集りしもの無慮一千七百四十八通の多きに上れり、本店は最も愼重に、最も公平に之を審査し、今や其結果を發表するの機會を得たり本店は、茲に謹て應募者諸賢の甚大なる御同情に對し滿腔の謝意を表す

クラブ白粉　クラブ歯磨　クラブ洗粉
クラブ粉白粉　クラブ打粉　クラブ水白粉
クラブ美身クリーム　クラブ毛髪用ネマード

■宇知多生氏作に對する短評

五等當選　帝國新聞讀者　大阪　花園　三次
概括的に筆よく兩者の目的を辯明し、俳優の化粧法を以て素人のそれに應用せんと試みし世の早計者をして顔色無からしむ

同　大阪新報讀者　大和　森崎芳三郎
抽象的に兩者化粧の相異なる粧法と目的との二點より解剖し俳優と化粧法の素人に適せざるに論及して餘蘊なし

同　高知新聞讀者　高知　山中　森鷗
全文に亘つて論旨が中々正確である用意も亦周到である俳優は舞臺的也素人は對人的也の一語は實に全篇の骨である

同　東京朝日新聞讀者　東京　渡邊　小紅
擧石流暢丈け流達適切亦餘蘊なし然し[illegible]化粧は人に快感を與ふる一の要件である事の說明なしも望ましかつた

同　大阪朝日新聞讀者　神戸　兀　二生
強らしさいつた風に俳優と素人の立場の差異を巧みに明審に說いて其急所をキビ／＼と鋭く突いて居る

同　萬朝報讀者　東京　門富士仙巣
穩健な筆で論旨の充分に徹底して居る文章も亦至極明快だ化粧に意を用ふる者は是非一讀の價値がある

同　時事新報讀者　寺内　鶴方
素人の俳優を眞似る者の化粧觀念の根本的謬りを痛快に說破して餘蘊なし傾れる者も悟れる者も共に來つて此の警告に浴せよ

同　萬朝報讀者　菊水部　子
化粧の異點を簡潔に論斷し得て餘蘊なし聊か數式なりとても化粧の本領さも得し人々初めて長夜の夢より醒めしならん

同　時事新報讀者　金澤　敏、鬧生
俳優の巡活を摘へ來りて俳優の化粧と素人に適せずと說破したるは妙之を示して其の弱點を自白せしめたるものに同じく快哉

同　大阪毎日新聞讀者　大阪　逆瀾生
論理整然として用意又周到を極め其の論旨何人をも首肯せしめずんば止まざるの概あり惜文章の冗長に流れしは可惜

同　山陽新報讀者　岡山　中山眞三衛
比喩巧妙論鋒鋭利句共に整然として能く要を得たり、俳優を傀儡に擬し人を欺瞞せんとする奸商をして顔色なからしむ

同　時事新報讀者　東京　佐藤　蜂雄
誤れる俳優化粧を適切に說き得たり、彼の一時の流行に追はれて、粗惡なる化粧品と討死する令嬢達は實に勿外の悲劇也

四等當選　大阪毎日新聞讀者　前田　桓吉
所說穩健にして周到俳優化粧法の素人に適せざる理由を說破して些の遺憾なし文辭亦暢達眞に當選文の首班たるに恥ぢず

三等當選　萬朝報讀者　東京　川上　江風
才氣縱横淡々と筆を運んで然も其論深酷を極め從來の誤れる俳優本位の化粧品廣告屋をして無顔色、自使讀者叫快哉

同　萬朝報讀者　堀　水生
化粧法の根本的差違を說き得て簡潔論旨亦秩序あり生命あり行文の流暢は更に本旨の透徹を助けて遺憾なからしむ

貳等當選　新潟新聞讀者　無名氏
化粧の本義を明にし品質撰擇に注意を與へ不言不語の間衛生生理を理想させるクラブ白粉の常用を推奬せる何ぞ輕妙なる

同　毎日新聞讀者　足立　狹花
穩健な議論殊に光線との關係を論じて稍詳しきに到つたのは一異色だ全體に於て弛みの無い底力の有筆致は確かに老筆

■石川天風氏作に對する短評

五等當選　萬朝報讀者　門富士仙巣
素人が俳優の化粧を眞似る事の絶對に不可なるを說破して殆ご餘す所が無い秩序正しい而して的確な文章だ

同　萬朝報讀者　前川　翠香
實例を擧げ、俳優、素人の化粧に就いて各特殊の目的あることを指摘す、化粧の要義、說き得て明かなり

同　愛知新聞讀者　神奈川　金子　筑山
素人は此の文の如く自然に反かぬ化粧を施されば ならぬ素人は美を借用せず美の所有權を自己に取得する樣努むべきである

同　やまと新聞讀者　横濱　木波　筵の字
此の文正に闇黑なる化粧品界を照すサアチライト俳優宗の化粧者抑いて目眩きの感があらう

同　中央新聞讀者　神奈川　久樂部生
審人七十の老體にしてよく二八の處女に扮す、即ち俳優の化粧は扮裝術也、天風子よく此の間の消息を明かにす、文巧み也

同　中央新聞讀者　東京　團　佛
筆致輕妙にして條理井然論旨高潔にして字句洗錬恰もクラブ白粉によつて薄化粧せる絶色の佳人に接するの感あらしむ

同　靜岡新報讀者　靜岡　白羊生
俳優の化粧は扮裝術なりと喝破せるは痛快、自然美を發揮する文明的化粧は素人の天職とは諸讀への好警告

同　萬朝報讀者　東京　梅都　しげ
擬相的俳優の化粧は、自然美を發揮するに付きて同等の價値なきことを論じ以て世の所化粧者をして顔色なからしむ

同　東京日々新聞讀者　村上勇五郎
劈頭第一化粧の眞意義は品位高き薄化粧なりと斷じ、俳優の化粧は扮裝扮飾なりと喝破したのは實に達見といふべし

四等當選　萬朝報讀者　大阪　岩崎　孝子
俳優のは化粧にあらず扮裝なりとの斷案の下に縷々數百言一々背綮に中れるを覺ゆ、結論殊に妙

參等當選　東京朝日新聞讀者　武藏　下田　一郎
所論明確、而して俳優の所謂化粧なる者は一の扮裝術のみと說破せる所最も妙[illegible]

■清水ともゑ子作に對する短評

五等當選　二六新報讀者　東京　高村　爲吉
說述平易簡明且論旨も依然たり能く俳優と素人との化粧の相違を述べたりと謂ふべし、只白粉の[illegible]

同　大阪新報讀者　大和　森崎芳三郎
兩者の目的を擬相的と發揮的とに區別し難易本領標準等の條項に分割して遺憾なく論說し趣旨貫徹議論確實味はふ可文。

同　東京朝日新聞讀者　信濃　中島醉花子
誰にでも解り易く、讀み易く書いて有る殊に六の比喩の如き、俳優の化粧が素人に適せざる事を美しく說破して居る。

■玉兎子作に對する短評

五等當選　大阪日報讀者　奈良　西田　豊
文章平易にして警句に富み化粧に品性の伴ふ可きを說き俳優の化粧は一時的のものに過ぎずと論破、至言と云ふ可し

同　萬朝報讀者　靜岡　長田　貞
俳優の化粧法は素人に適せざる事を述て剴切遺憾無く而て行文閑雅流麗當に是クラブ洗粉を使用して薄化粧を施したるが如し

同　國民新聞讀者　秋田　新山生
素人は飽まで、純正な自然美を沒却せぬ程度に於て化粧すべきを剴切に痛論して遺憾なし、一讀溜飲の一時に下るを覺ゆ

同　北越新報讀者　越後　獣　佛
俳優の扮裝術は素人の化粧法が全然沒交涉なのは常識があれば分る事である、讀者が品性の美に着眼した所多とすべし

同　萬朝報讀者　石見　河野すみ子
化粧美と品性美とは不離不即、此の間[illegible]の聯鎖あり、之を體得する人にして初めて眞に美人たるを得む

同　都新聞讀者　東京　齋藤　鶴吉
冒頭の句其論題を巧に說明し得て面白し全文を通じて恰も夏日サイダーを飲むが如くスガ／＼しき文章と云ふべし

四等當選　東京日々新聞讀者　東京　白　洋生
美の眞髓は肉體の美に加ふるに品性の美を以てすと論じ貞淑なる婦人は斷じて俳優の化粧を模す可らずと說く眞に痛快

同　萬朝報讀者　大阪　前川　翠香
品性美を說く所、至理、殊に地下の團洲を起こし、方今新聞廣告になる俳優の化粧談を嘆せしめたるは、痛快

同　東京朝日新聞讀者　東京　篠岡　思郎
人間美の眞價値を說く事切々、宛ら慈母より受くる教訓のやうで理窟に偏せざるだけ一層讀者を首肯せしむる力が強い。

壹等當選　萬朝報讀者　山形　十八公子
品性の美と身體の美との關係より素人の化粧は高尚なる薄化粧を宜しとする所以を說く一篇の文字亦自ら薄化粧の趣あり。

●宇知多生作の文中短評應募者が下せし朱點の最も多く相一致せる箇所

俳優の化粧法を抽象的の言葉で一口にいへば舞臺的である。

俳優の化粧は相對して演技する互同志に見てくれをするのではない目的格は觀客である。

素人は之に反して多くの場合、化粧の目的は常に對人的である。

俳優の化粧は夜目遠目式である、随つて特種の光線の援助が必要である。

素人は電燈等の下に立つ如く、太陽の下にも立たなければならぬ素人の化粧は月夜にも美人であり、又晝間にも美人であるのでなければならぬ。

一般に俳優は常に厚化粧を主とする、遠見を利かせて舞臺の光線に調和さる爲には、どうしても厚化粧でなくては引立たない。

素人に於てはむしろ薄化粧の方が其化粧法の眼目である、高尚で床しくてどう見ても品位を落さないのは薄化粧である

最後に俳優の化粧は、非自然又は反自然を根底さしてることを忘れてはならぬ、俳優は其扮する役々に應じ、いろんな技巧を加へて自己本來の自然を沒却せんことを務める、自然を隱し自然を僞はり、乃至は自然を寄せん爲に化粧をする場合が多い。

素人の化粧は特に技巧を加へるにしても高尚にして、其程度は只自然美を發揮する爲、乃至は天眞美を助長する爲の目的であらねばならぬ。

化粧品の凡ては畢竟この皮膚美の補助品である、助長手段である、一時の便宜や俳優の化粧談に迷うて不純な白粉を用ふるが爲に、鉛毒で身體をこわしたり、目前の巧言に釣られて不良な石鹼を使つて却て皮膚の艶を失ひ、うるほひを拔く等のことがあるならば、これ化粧をする爲に、却て根本の目的たる自然美を損するもので、本と末と、主と客とを顚倒したものといはねばならぬ。

●石川天風氏作の當選文中朱點の最も多く相一致せる箇所

化粧の本義はと問ふ人があつたら誰でも言下に、自然美を助くる人爲の美容法であると答へる、故に眞の化粧法は自然美の補翼する程度であらねばならぬ。

全體、俳優に化粧さいふ言は無理で俳優のは一つの扮裝である、扮飾である。

素人が此假裝を眞似て、白晝大道を步行かうものなら、それこそ狂人扱ひをせられる、お化だ、狂的だとは、往きこう人の目引き袖引き噂する處に違ひない。

文明的化粧法は、生理と衛生とに注意して眞美の發揮に勉め、決して自然に反かない、不自然は美の敵である。

俳優は衛生、生理の缺陷ありと知りつゝ濃き白粉を以て扮裝する事が、一つの營業手段である。

素人は人間本來の麗質を發揮せしめねばならぬ、是は營業ではない、本分である、天職である。

●清水ともゑ子作の當選文中朱點の最も多く相一致せる箇所

俳優の化粧なるものは變想的であるから多く不自然である、語弊もあるが、人の目を瞞著しやう化けて見せやうと云ふが如きである。

之に反して素人のは自分の美を十と假定すれば、化粧の力に依つて已が天眞の美を彌が上にも發揮して、つまり十二にも、十五にも、見せやうと云ふのであるから、全く自然を根據として居る。

俳優の化粧は舞臺に於ける遠目の關係上、何うしても濃厚にする必要があるが素人のは出來得る丈け淡白にしなければならぬ、

素人も各自の顏に依て多少濃淡の用法はあれど、概して俳優は濃厚に、素人は淡白にと云ふ標準を忘れてはならぬ、一例を以てせば、鼻白粉を俳優が施すが如く濃厚に素人が塗けたならば、顏の調和を缺き却て化粧の目的の破壞となり、人の嘲笑を招くであらう、故に素人は絶對に俳優の舞臺化粧を用ひては駄目である。

俳優の化粧は恰も造り花で、造花師が種々の色彩を工夫して眞の花に髣髴させる苦心が乃ち夫である

素人の化粧は眞の花で　駝師が培養の力に依て天然の美花を一層美しく、大きく咲かせやうとするのと同じ心である

●玉兎子作の當選文中朱點の最も多く相一致せる箇所

「俳優の化粧と素人の化粧」といふ事は元來問題になる性質のものでは御座いません、何となれば俳優と素人とは全く立場が異つて居りますから、素人が俳優の化粧を眞似るのは甚だしい僻事で御座います

別して貞淑を誇りとする女性方にして、俳優の化粧の何たるをも究めず、無暗に左官式化粧を施すのは飛んでもない事と申さねばなりません。

人間は生れながら天與の美を享けて居るとは申せ、化粧と云ふ手入を怠ります時は、球に翳のかゝるやう、鏡に曇のかゝるやうに次第に美しさを損するもので御座います、故に男女共に常に化粧に注意して天與の美を毀損せぬやう力めねばなりませんが、何も好むで素人が俳優の濃厚な暑苦しい化粧を模倣る必要はないのです。

俳優は何の爲めに化粧を施すかと申しますに、劇中の人物に扮する爲めで御座いまして、決して眞正の[illegible]を發揮する爲めでは御座いません、俳優の化粧はホンの一時丈けのもので御座いまして巧に人相を變へ得れば宜しいのでありますが、素人の化粧は飽く迄天與の美を發揮させなければならないので御座います、

人の心と身體とは取離す事が出來ませんから、朱に交れば赤くなると申す通り、下劣なる化粧に親しめば自から品性も賤しくなるもので御座います、故に化粧は品性を淘治し品性は化粧を通じて推知されるので御座います、故に素人は下賤なる厚化粧を避け、高尚なる薄化粧を施して高潔なる品性を養はねばなりません。

特製　實味噌　御料理向
實味噌は白と赤との二色で味好しと天下一品
味噌製造　漬物問屋　たからや　仁川本町三丁目　電話七三七番

最上醤油
釀造元　仁川萬石町　高杉醤油釀造所　電話七六五番

土地建物鑛山株券賣買
一　擔保及確實なる債權に對し低利貸金す
一　漢江上流に在る赤松長五六間のもの二十萬本余賣物あり
一　市内適當の場所にて印刷業老舗機械附屬品全部讓り物あり
一　京釜線太田驛附近の田畓（三四里以内の處）
一　京仁線以西　田畓右買たし賣物あらば至急申込まれたし
一　最良好の金銀銅　明礬山石綿山賣物あり
小林藤商店　京城明治町三丁目　電話六五五番

唯一ノ職業紹介所
會社及從來の口入屋的弊習を一掃し專ら各會社商店工場等に就職希望の氏を紹介す營業案內御入用の方は郵券十錢送付あれ
京城旭町二丁目
▲男女高等人事相談所
▲京城貸家一目所
萬告社（府廳横町入）

瓦斯コークス販賣　京城黃金町高等演藝館前　酒井組　電話二一四九番

宅地賣物　黃金町に　九十坪

美江公州間　定期出帆
美江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時美江着後四時
御乘客の便宜の爲め御乘用として新聞雜誌碁將棋等の備付あり
京釜美江驛前　中條運送美江支店

汽船出帆廣告　七月中
三宮丸　屯州行　七月卅一日前八時
天草丸　濟州行　八月一日前六時
成歡丸　甑島行　七月卅一日前八時
海利丸　海州行　七月三十日前五時
成歡丸　汰湖芝行　七月廿九日前十時
合資會社　仁川本町四丁目　秋田商會船舶部　電話一七三七五〇番

諸公債諸株券　●現物賣買